

婦人会の活動状況などを話す増田会長



健康、福祉、安全の町へ

町婦人会総会

3月29日、平成20年度御船町婦人会総会(増田幸子会長、336人)がカルチャーセンターで開催され、会員約100人が出席して行われました。

総会では、平成20年度の会務や会計の報告、平成21年度の事業計画や予算の審議、永年功労者への記念品贈呈などが行われました。総会後には、御船警察署刑事生活安全課の山下英二氏の講演で、振り込み詐欺の手口と対応方法を熱心に聴いていました。

▼永年功労者(敬称略)

木倉地区／吉田 綾子、谷住 ムツ子、堀川 ツルエ

多彩な曲目で音楽の楽しさ発信

カルチャーセンター音楽祭

3月22日、第12回御船町カルチャーセンター音楽祭がカルチャーセンターで開催され、上益城郡内から10団体が出演して行われました。御船町からは、御船童謡教室「ほほえみ」、御船トーンチャイムクラブなどが出演。懐かしい曲「めだかの学校」の合唱や、「涙そうそう」の合奏を披露して、訪れた観客を音楽の世界へとといざないました。そして、音楽祭のフィナーレには、「ふるさと賛歌・かみましき」を御船・嘉島消防音楽隊の演奏にあわせて、参加者全員で合唱し、優美に締めくくりました。



「少年時代」や「君をのせて」を合唱したアーベント・レーテ

山間地域に待望の道路開通

町道北園茶屋本線開通式

4月2日、町道北園茶屋本線の開通式が新日向橋で、地域関係者など約150人が出席して行われました。

町道北園茶屋本線は、期成会(田中^{ほかし}外至会長)を中心とした地域住民の強い要望によって、平成14年に着工。道路の総延長2,320^{きようりょう}メートル(橋梁49^{メートル}メートル)と幅員9^{メートル}メートル、総事業費約11億3千万円を投じて完成しました。神事の後、テープカット、地域住民や関係者の渡り初め、七滝中央小学校児童の新風太鼓「響」の披露で開通を祝いました。開通式では、主催者を代表して、田中会長が、「町道北園茶屋本線は、産業や教育振興に大切な道路として、いつまでも愛してほしい」とあいさつ。

山本町長は、「町道北園茶屋本線は、地域住民の熱意で完成した。今後、山間や中山間地域の活性化につながる道路である」と祝辞を述べました。



テープカットで開通を祝う関係者

野鳥や景色を眺めて散策

健康ウォークラリー

3月8日、健康ウォークラリーが熊本県鳥獣保護センター(高木)で開催され、町内外の2歳から83歳までの約100人が散策を楽しみました。

フネッピーすこやかスポーツクラブ(竹内昭剛会長)主催で、健康や体力づくりの増進などが目的で、2回目。同センターの探鳥路約3^{キロ}を自由に散策して、野鳥や景色を眺めながら、所々に設置された野鳥や動物当てクイズに参加者同士で知恵を絞って楽しみました。散策後は、本館に集まって、クイズ全問正解者などに賞品の贈呈や、だご汁が無料で振舞われ、春のうらかなひと時を過ごしていました。

参加者の橋本勉さん(木倉=67歳)は、「一人で歩くより、大勢で話しながら歩くと数段楽しい」と話していました。



幼児と手をつないで探鳥路を散策する参加者たち

休憩所で参加者をもてなす
山中款区長(右から2番目)と牛嶋清一さん(右から1番目)



歴史街道で心温まるおもてなし

日向往還ウォークラリー

3月20日と21日の両日、第4回日向往還ウォークラリー in 山都(山都町など主催)が御船町から山都町間で開催され、山里の春を散策しました。鼎春園(上野)をスタートして、八勢眼鏡橋の桜を眺めながら、日向往還の石畳を登る約400人の参加者たち。八勢区では、渡邊義成さん(上野)方前に休憩所を用意して、お茶や漬物、地元産から芋でもてなしました。山中款区長は、「気持ちよく石畳を歩いてもらおうと、数日前に同区で清掃作業に汗を流した。今後も同区開催のイベントには全面的に協力したい」と話されました。

シイタケ栽培にチャレンジ

七滝中央小シイタケ種コマ打ち体験

3月13日、七滝中央小学校(佐藤公一郎校長、59人)の6年生10人がシイタケの種コマ打ちを吉無田高原「緑の村」管理センターで体験しました。食育や地産地消を推進することが目的。種コマ打ちは、同高原キャンプ場からドングリの原木約200本を準備し、培養したシイタケの菌を金づちで打ち込みました。橋嶋郁己くん(七滝)は、「(シイタケが)こんな風に栽培されるとはじめて知った。金づちで(菌を)打ち込む作業をしていたら、物づくりがしたくなった」と好奇心旺盛な話をしてくれました。



手際よくシイタケの種コマを金づちで打ち込む児童たち